

平成25年度第1回リニモ沿線地域づくり会議における委員提言・要望への対応状況

文責：愛知県地域政策課

提言・要望内容	行政の対応方針
<p>○ 公園西駅周辺では、宅地開発に加え、モリコロパークイベント時には大変な渋滞が発生しており、更なる開発やイケアの進出においてはこれを踏まえて対応する必要がある。 【亀倉教授（名古屋商科大学経営学部教授）】</p> <p>○ 新たな商業施設の出店は道路渋滞を巻き起こすだけで、リニモの乗客数増加につながらないのではないかと心配している。出店をリニモの利用促進につなげるため、商業施設へ公共交通機関を使って来店された方には特典を出すなど、戦略的に取組みを実施していく必要がある。 【鈴木委員（瀬戸まるっとミュージアム・観光協会会長）】</p> <p>○ 交通対策については、地域全体として、車と公共交通機関のシェアの配分と、地域交通の需要を増やすことについて、両方を天秤にかけながら、総合的なことを考えていかなければいけない。 【瀬口委員長（名古屋市立大学名誉教授）】</p> <p>○ 休日だけでもモリコロパークの駐車料金を割増しすることにより、車からリニモの利用へコントロールすることを検討できないか。 【島田委員（リニモねっと代表）】</p>	<p>・ 関係機関が一体となって渋滞問題に対処するため、平成26年1月、県関係部局及び関係市をメンバーとするワーキンググループを設置し、リニモ沿線地域の渋滞対策に向けた検討を開始しました。</p> <p>・ 県営都市公園の駐車場料金は、愛知県都市公園条例で定められております。条例の改正には、必要性・妥当性の検証などを十分に行う必要があり、早急な対応は困難であることから、本事項については今後の研究課題とします。</p>
<p>○ 沿線地域の店舗の紹介と併せて、地域を低料金で走っている巡回バスによるアクセスをPRすれば効果的でないか。</p> <p>○ リニモを利用した際の、沿線施設などの利便性が向上すれば利用者も増加するのではないか。（例：着替え・手荷物などがあると、リニモは不便である。） 【石黒専務理事代表理事（あいち尾東農業協同組合代表理事専務理事）】</p>	<p>・ 今後、リニモ沿線地域を紹介するリーフレットなどを作成する際は、巡回バスとリニモを組み合わせ利用してもらえるよう、記載方法の工夫に努めます。</p> <p>・ 施設の特性に合わせた対応が必要となると考えられます。具体的なお提案をいただくことで、今後の検討につなげてまいります。</p>
<p>○ 学生のたまり場となるハード整備を検討してはどうか。 【島田委員（リニモねっと代表）】 【松宮委員（愛知県立大学教育福祉学部准教授）】</p>	<p>・ 新たな施設整備は費用面での課題があり、今後の検討課題（リニモテラスでの検討など）とさせていただきたいと思っております。</p>

<p>○ これまでリニモ沿線地域で行われた先進的な取組みの成果と課題をまとめ、情報発信してはどうか。</p> <p>○ リニモ整備による「広域的な交通サービスのネットワーク効果」と「地域経済や自治体財政に与えた影響」を調査・研究してはどうか。</p> <p>【島田委員（リニモねっと代表）】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年に「リニモ沿線地域づくり構想(H21.3 策定)」の取組みの目標年次を迎えるにあたり、来年度以降、同構想の検証と今後の取組の検討を行っていく予定です。その一環として、リニモ沿線地域づくりの今後の展開に活用できる、先進事例などの調査研究を行いたいと考えています。
<p>○ リニモの利用が減る 8 月、2 月、3 月の対応策について、例えばモリコロパークには長期休暇期間中、多くの家族連れが訪れる。</p> <p>○ そこで、モリコロパークに車で来て、そこからリニモに乗ってトヨタ博物館へ行けるなど、モリコロパークを起点にして、別の場所に行けるといった情報提供を行えば、リニモの利用も増えるのではないか。</p> <p>【松宮委員（愛知県立大学教育福祉学部准教授）】</p>	<ul style="list-style-type: none"> リニモの利用が減る夏休み・春休み期間中は、モリコロパークを会場として「わくわく体験リニモツアー」や「夏休みリニモ親子教室」など、親子向けイベントの開催による利用促進を図っております。また、沿線施設を紹介する「リニモ沿線マップ」や沿線で開催されるイベントなどを紹介する「リニモ沿線イベントガイド」を作成し、モリコロパークに設置することで、沿線地域の情報提供にも努めています。 今後、モリコロパークにおけるイベントの広報にあたっては、近隣の観光スポットを併せて紹介したり、同じ日に近隣地域で開催されるイベントを併せて案内するなど、さらに効果的な広報を心がけてまいります。
<p>○ 高齢者にリニモ・巡回バスなどの公共交通機関を利用してもらうための研究を行い、例えば高齢者向けのイベントの広報に合わせて、公共交通機関のアクセスも PR してはどうか。</p> <p>【土居友二委員（豊田商工会議所専務理事）】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度、リニモ沿線地域づくり調査研究会では、高齢者にもアピールするような長久手市の伝統文化に焦点を当てた事業を実施しました。リニモ沿線地域には歴史・文化などの資源も多いことから、今後も、こうした高齢者にも楽しんでもらえるような事業について研究するとともに、事業実施にあたっては、リニモを始めとした公共交通機関のアクセスを含めた広報に努めます。 また、年 13 回開催しているリニモウォーキングの参加者は約半数が 60 歳以上であり、その機会を捉えて「リニモ沿線マップ」やリニモ時刻表を配布しており、今後もこうした PR に努めます。 <p>(参考) 長久手市では市内在住で満 65 歳以上の方に、毎年リニモカードを配布（平成 24 年度は 1,000 円分を 3,417 人に配布）しているほか、登録者に優待カードを発行し、コミュニティバスの利用料金を無料とするなど、高齢者が、公共交通機関を活用して外出しやすい環境づくりに取り組んでいます。</p>